

日米関税交渉合意

税率15%とトランプ氏

「コメや自動車を開放」

【ワシントン共同】トランプ米大統領は米東部時間22日午後（日本時間23日午前）、ホワイトハウスで演説し「日本との史上最大の貿易合意に署名した」と明らかにした。米側は25%と宣言していた日本に対する「相互関税」を15%に引き下げる。演説に先立って自身の交流サイト（SNS）にも投稿し「日本は自動車やコメ、その他の農産物などの貿易について国を開放する」と説明した。



トランプ米大統領（ロイター共同）

8回目の日米関税交渉で「とも書き込んだ。トランプ氏は演説で「アラスカでの液化天然ガス（LNG）事業について日本と合意する予定だ」とも述べた。石破茂首相は23日、トランプ氏が表明した日米関税交渉の合意を巡り「日米が力を合わせて雇用を創出した。良いものをつくる」とも述べた。

トランプ氏はSNSには「日本は米国に5500億ドル（約80兆円）を投資し、利益の90%を米国が受け取る」とも書き込んだ。トランプ氏は演説で「アラスカでの液化天然ガス（LNG）事業について日本と合意する予定だ」とも述べた。石破茂首相は23日、トランプ氏が表明した日米関税交渉の合意を巡り「日米が力を合わせて雇用を創出した。良いものをつくる」とも述べた。



日米関税交渉について、記者団の取材に応じる石破首相＝23日午前、首相官邸

トランプ米大統領のSNSへの投稿ポイント

- 日米が関税交渉で合意した
- 日本に対する相互関税の税率は15%
- 日本が米国に5500億ドル（約80兆円）を投資し、利益の90%を米国が受け取る
- 日本が自動車やコメ、その他の農産物などの貿易について開放する
- おそらく史上最大規模の合意だろう